

運輸安全マネジメント評価報告書（第3回）

事業者名称：
南国交通株式会社

評価実施場所：
鹿児島県鹿児島市中央町 18-1

総評：

【評価事項】

貴社における安全管理体制の構築及び改善に関する取組については、経営トップを始め社員が一丸となって安全の確保に取り組んでおり、以下に掲げる項目については、見直し・改善がなされており、評価します。

- ① 経営トップは、安全が最大の使命と認識し、労働環境の改善や業界全体の今日的課題でもある乗務員の高齢化対策、人員確保にも積極的に取組、さらには、新型コロナの影響で経営が厳しい中でも LED ヘッドライトを全車に採用する等、可能な範囲で予算を確保し、強いリーダーシップを発揮され、自社の安全管理体制の向上を図る取組を推進されていること
- ② 自社の安全管理体制全般が適切に運営され、有効に機能しているかを確認するとともに、その結果を次の取組に反映することに主眼を置き、経営トップの主体的な関与のもと、安全管理体制全般について総括的に振り返りを行い、次年度の安全重点施策等の策定に繋げられ、見直し・改善の仕組の構築、並びに運用といった PDCA サイクルが機能していること

【助言事項】

一方、安全文化の構築と定着を図り、安全性を段階的に向上させるためには安全管理体制の継続的な改善及び不断の取組が不可欠であることから、引き続き、経営トップが主体的かつ積極的に関与して頂くとともに、以下に掲げる項目について、更なる取組を講じることについて、ご検討下さい。

- ① 発災直後の対応として、社員の拠り所となる「人命を最優先」とした防災の基本方針を明文化し、その方針に基づいた行動が実行できるよう、文書として周知し、全社員へ理解・浸透させること
- ② 乗務員が報告しやすいようドラレコ・デジタコの機能を活用し、急ブレーキ等の異常値を検知し、乗務員に確認する等、まずはヒヤリ・ハット情報を収集する方法の改善を検討し、十分な情報量を得た上で収集した情報の分類整理や傾向把握の実施等の活用を通じて、リスクを見逃さないことを念頭にした事故の未然防止に向けた安全管理体制を構築すること

【期待事項】

また、助言事項までには至らないものの、今後取組を推進されることで更なる安全管理体制の向上が期待される項目について、以下に記載します。

- ① 安全重点施策における取組計画の具体的な内容を明示し、その取組の達成・進捗状況及び有効性を把握して、継続的な見直しを行い、次年度の取組計画に反映されること
- ② 安全重点施策に人手不足に関する定量的な「安全目標」と、これを達成するために現在、既に取り組まれている各種対策を「取組計画」に盛り込み、効果検証を行い、必要に応じて見直し・改善を図り、課題解決に向けた取組を推進されること

国土交通省大臣官房運輸安全監理官

中谷 育夫

備考

運輸安全マネジメント評価履歴
第1回：平成20年5月23日
第2回：平成24年3月15～16日